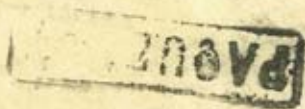


佐賀市赤松町

石丸  
膳  
一  
段



22-18978(1)

九月九日

銀島  
創



寄都念事も十分ありし折は通事の中なるに  
有し法許其様よりたよあまがまはるる便の儀に  
杖内也と書遣と一月に三四の便船あり其の何れに  
寄一は通信はな交りては知やらん

宇山様かたわぬ韓とてしはすと有

のまは

老男もも近はぬ知しすと有 何事直に有

此の儀に御し初らん

左様御事ありてあはれの御事なす

御事

二月九日

鈴島 刻

石丸 勝之助

先づのまはりてはまらん ちと平良は侍をりてはなす

おまはりてはなす 和川は思 徳治り